



上杉ただし (日本共産党)

- 1.特別支援学校卒業生が安心して暮らせる多摩市へ
- 2.クラフトラボの充実について

問 肢体不自由があったとしても、必要であれば生活支援員の配置を手厚くするなど特別支援学校卒業生のこれがやりたいといった希望に応えてほしい。市の見解を伺う。

答 多様な支援形態の事業所運営がなされることは重要と考える。通所先の選択肢が少なくなることがないよう、どういった支援を行うことができるか研究していく。

問 特別支援学校高等部を卒業後、さらに学びを継続したいと希望した人たちに対し、多様な学びの機会を保障していくための市の見解を伺う。

答 国の「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」の中でも研究が進められており、市としても、今後の国や東京都等の動向を注視していく。

問 クラフトラボの機材などさらに充実させてもらいたいと考えるが、今後の計画について伺う。

答 現在のところ、追加の工具や材料の導入予定はないが、今後も利用者の意見やニーズを把握し、指定管理者と連携して設備のさらなる充実を図ってきたい。



渡辺しんじ (公明党)

- 多摩市の交通インフラについて

問 再編された多摩市ミニバスはドライバー不足などにより、運行の維持が危惧されるが、今後の見通しを伺う。

答 利用者増、収支率を改善し、多摩市ミニバスの維持に努める。

問 交通不便地域の解消に向け、多摩市もデマンド型交通の導入を真剣に検討するべきと考えるがいかがか。

答 利便性、事業性の課題や事業者との共存が難しい。将来的な備えとして、調査研究を進める。

問 全国的に自動運転バスの実証実験が実施されているが、多摩ニュータウンの強みを活かして、全国をリードする取組みを期待するが、市の意気込みを伺う。

答 令和8年1月の自動運転バス実証実験は多摩市が主催。これを機に本格運行をめざす。

問 市民の大事な動線である永山駅近辺の歩道橋が撤去された。市が民間事業者と周辺地権者の「架け橋」となって取組んでもらいたいがいかがか。

答 時間はかかるが積極的に解決策を模索していく。



しらた満 (青空りっけん)

- 1.多摩市の事業者育成と監督責任
- 2.国・都の補助金活用の無電柱化事業
- 3.風水害に対応した防災計画の見直し

問 国・都・近隣市が見直す中、多摩市は平成29年から指名業者指名停止基準の見直しをなぜ行わないのか。市民への情報周知(掲示板・ホームページのみ)の改善を問う。

答 見直しはしてきた。周知は考える時代になってきた。

問 狹い幅員でも進む中、防災本部市役所と燃料供給業者が面する緊急輸送道路・旧鎌倉街道の無電柱化を問う。

答 東京都と電力会社に技術革新を含めて要望していく。

問 多摩第二小学校の地区防災倉庫は大栗川沿いの家屋倒壊等氾濫想定区域にあるが移設は考えていないのか問う。

問 地域の方のご懸念があれば、速やかに対応していく。

問 南野調理所跡地に災害等の備蓄センターはどうか問う。

答 庁内の議論を進めた上で検討を進めていきたい。

問 永山調理所建替えや、防災や環境、食育や多様性等に対応できる給食調理場とPEN樹脂食器の是非を問う。

答 新たな学校給食センターの整備方針を定めている。食器については、どちらかに決めた状況ではないので、総合的に検討している段階である。



あらたに隆見 (公明党)

- 1.どうなる多摩市の公共施設！
- 2.物価高騰対策待ったなし！

問 従来の公共施設等総合計画とアセットマネジメント計画の関係性はどうなるのか伺う。

答 アセットマネジメント計画は公共施設のミライ編と公共施設等総合計画編の二編を定め、下位計画として公共建築物のアセットマネジメント個別計画を位置付ける。

問 アセットマネジメント計画で総合計画期間内の公共施設更新に必要な費用を出すことはできるのか。

答 先行き不透明で中長期の費用を示すことが難しく、計画策定を6ヶ月ほど後ろ倒しし、明年9月をめざす。

問 物価高対策として拡充される重点支援地方交付金をどのように活用されるのか伺う。

答 国から交付限度額と事業要件が示された段階で具体的な活用の検討を進めていく予定である。

問 売上が厳しい2月に物価高騰対策と地域経済活性化のためにGOGO多摩キャンペーンを行るべきではないか。

答 何らかの形で生活者支援・事業者支援の観点から速やかに支援ができるように準備を進めていく。

